

一九六三年
五月二十五日
印刷
發行



第46卷 第3号

史学・地理学・考古学

- 院政期における保成立の二つの形態……………河 音 能 平 (1)
- 柚工と莊園(下)……………赤 松 俊 秀 (25)
——伊賀国玉滝・黒田莊——
- 清代の捐納と官僚社会の終末(中)……………近 藤 秀 樹 (77)
- ドイツ産業革命の一側面……………大 島 隆 雄 (101)
——ザクセン綿織物工業における機械制大工業化過程——

研究ノート

- 英国地方史研究文献(二・完)……………越 智 武 臣 (136)
——イースト・ライディング・オブ・ヨークシアの場合——

学界動向

- 訪中旅行記……………長 広 敏 雄 (151)

書 評

- 樞原考古学研究所編：近畿古文化論攷……………有 光 教 一 (160)

紹 介

桓武朝の諸問題 The City in History
会 報 学界消息

史 学 研 究 会

京都大学文学部内

京都大学文学部東洋史研究室
東洋史研究会

〈研究発表〉

天満天神信仰の成立について

源空教団と念仏停止

古代日本の帰化氏族と仏教

律令礼式の修定

八世紀の土器の生産

〈公開講演〉

伝承より見たる日本古代の葬制

丹生文化の諸相

古代より中世へ

長 照代

吉田 浩

堅田 修

大石良村

木村捷三郎

五米 重

角田文術

竹内理三

補修や、狹口付近の改造がおこなわれている。本瓦窯は、規模、構造ともによく似た奈良県飛鳥寺瓦窯とともに、瓦窯としては最も古いものにぞくしている。

窯の内部、灰原からは多数の瓦、須恵器が出土した。このうち瓦については、瓦当紋が三種類とも、北区北野白梅町の北野廃寺のものと同じことから、本瓦窯でやかれた瓦は同廃寺に供給されたものとみられる。また、本瓦窯の須恵器は絶対年代のほぼ限定できる瓦と共存していることによって、須恵器の編年の研究の上で重要な基準になるものがある。

岩倉瓦窯の調査

二月末、左京区岩倉幡枝町の国際会館建設採土場で瓦窯灰原が発見されたので、京都府では京大考古学教室の横山浩一助手を責任者とする発掘調査を、三月一日から四月一七日まで実施して飛鳥時代の登り窯一基を発掘した。

窯は丘陵の南斜面に勾配をもってつくられた階段式登り窯で、長さ約一二m、幅二m。一部に天井をとどめ、その部分の観察から、ほりぬいて作られたものとみられる。幾度もくりかえして使用された結果、窯内の堆積がすすんで部分的には床面が数層かさなっておりとめられた。また、これにともなって、壁の

鶏冠井遺跡の調査

京都府乙訓郡向日町鶏冠井の国鉄新幹線工事現場で中山修一氏によって弥生式時代の遺跡が発見された。国鉄より調査の委嘱を受けた京都府では、府文化財専門委員有光教一を調査主任として、昨年一二月および本年三月一日―一七日、ボーリング調査と発掘調査とおこない、ピットの多数存在することを確認した。発掘した二つのピットは、平面形

(楕円・舟型)や断面のとのっていること、内部から生活遺物が多数出土することなどから人為的なものとみとめられた。出土した土器は、前期(幾内第一様式)後

半のもの(西瓜破式)と、中期初頭(第二様式)である。現在まで山城では、前期弥生式土器の発見例がすくなく、本遺跡と長岡町神足雨の宮遺跡があげられるにすぎない。後に多数の古墳が築造され、さらに新都造営の地とされたこの地域が山城ではじめて耕地が開発され、最初の稲が結実した地と一致するのは偶然ではあるまい。

中期の弥生式土器は、わずか7kmをへだてるにすぎない伏見区深草遺跡のものと異質のものであって、深草遺跡の土器によくみられる近江的色彩は、ここにはほとんどみられず、むしろ、大和・河内の土器との親近性がつよい。出土した石器には石庖丁、鑿形石斧、扁平片刃石斧、石錐、石鏃、石槍などがある。その他、瓦、須恵器、土師器などが出土した。長岡京の年代のものである。

史 林 (第四六巻第二号)

一九六三年四月二五日印刷 定価二〇〇円
一九六三年五月一日発行

発行所 京都市左京区吉田本町 京都大学文学部内

印刷所 京都市下京区西七条御所ノ内東町三九 振替京都五一五五番 理事 長 宮崎市定 中村印刷株式会社

THE SHIRIN

or the

JOURNAL OF HISTORY

Vol. XLVI, No. 3 May, 1963

CONTENTS

Articles :

- Two Forms of *Ho* 保 in the Period of
Insei 院政 *Y. Kawane* (1)
- Somakô* 袖工 and Manor (Ⅲ) *T. Akamatsu* (25)
- Chüan-na* 捐納 in the *Ch'ing* 清 Dynasty and the
End of the Bureaucratic Society (Ⅱ) *H. Kondô* (77)
- One Aspect of the Industrial Revolution
in Germany *T. Ôshima* (101)

Note :

- A note on the Study in English Local
History (Ⅰ) *T. Ochi* (136)
- A Travel on the Chinese Art *T. Nagahiro* (151)

Published

by

THE SHIGAKU KENKYUKAI

(*The Society of Historical Research*)

Kyoto University, Kyoto, Japan